

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部	
	17067	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業	課名	政策課 政策調整G	
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化		款	13:諸支出金
	施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進		項	01:基金費
戦略プロジェクト	-	目		03:リニア中央新幹線亀山駅整備基金費	
事業予定期間	H 8 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等			

② 目的・概要	対象	市民
	目的	リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積み立てを行い、リニア中央新幹線の市内における停車駅の整備事業を展開する際の財源を確保する。
概要		リニア中央新幹線亀山駅整備基金の計画的な積み立てを行う。なお、積立額は、毎年度の財政状況を勘案し、適切な額を積み立てることとする。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立	○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立	○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立	
	年度実績	○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立 50,030千円	○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立 50,690千円		
事業費	計画額	事業費	50,000千円	50,000千円	50,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	3,100千円	3,100千円	3,100千円
	予算額	事業費	50,030千円	50,690千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	4,476千円	6,394千円	
	決算額	事業費	50,030千円	50,690千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	4,476千円	6,389千円	
人件費	一般財源	45,554千円	44,296千円	0千円	
	総人件費 ②	77千円	78千円		
	一般職員	77千円	78千円		
	所要人員	0.01	0.01		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		50,107千円	50,768千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立額	計画値 50,000	50,000	50,000
		活動		実績値 50,030	50,690	
				単位 千円	千円	千円
②	②	名称	リニア中央新幹線亀山駅整備基金残高	計画値 1,650,000	1,700,000	1,750,000
		成果	平成27年度末残高: 1,550,904千円	実績値 1,651,063	1,701,753	
				単位 千円	千円	千円
③	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 財政状況が厳しい中においても、リニア中央新幹線市内停車駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施するための財源として、着実に積み立てを行っていく必要があるため、引き続き、着実な積み立てを行っていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 継続的な積み立てを行っていくため、本年度においても約5千万円の積み立てを行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 リニア中央新幹線亀山駅整備基金に50,690千円を積み立て、積立残高を約17億円とした。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 リニア中央新幹線亀山駅整備基金の目標積立額である20億円に向けて着実な積み立てにより、リニア中央新幹線市内停車駅周辺の整備事業を展開する際の財源確保に繋げることができた。また、基金の積み立てを確実に行うことにより、市内外にリニア中央新幹線駅誘致のPRにつながった。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 財政状況が厳しい中においても、リニア中央新幹線市内停車駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施するための財源として、着実に積み立てを行っていく必要がある。また、名古屋以西のリニア中央新幹線のルートや駅位置の決定を見据えた中で、基金の積立目標額の見直しについても検討していく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 引き続き、当該基金の積立目標額の達成に向け、着実な積み立てを行っていく。また、名古屋以西のリニア中央新幹線のルートや駅位置の決定を見据えた中で、基金の積立目標額の見直しについても検討していくにあたり、先行開業区間の関係自治体におけるリニア中間駅周辺の整備内容や事業費負担額等について研究していく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 着実な積み立てを行っていくことで、リニア中央新幹線市内停車駅設置後に、駅を中心としたまちづくりを早期に実施することができるとともに、駅誘致に向けた姿勢を内外に示すことができる。	
対応時期		令和元年度～	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 堤 大介
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A			
	成果	A	A			